

ふれあい新聞

春号



「グループホームかみさの家 堀内公園散策にて」

発行日 平成年4月日 第号
発行 社会福祉法人 瑞穂会
ふれあい新聞編集部
本部 〒444-0936
岡崎市上佐々木町字大官 49 番地
TEL (0564) 34-3666
FAX (0564) 34-2347

平成三十年度に向けて

社会福祉法人 瑞穂会

特別養護老人ホーム やはぎ苑

理事長兼施設長 手嶋 寛人

平成10年7月「やはぎ苑」が開所して今年20年になります。この間「かみきの家」・「くわがい」・「第二やはぎ苑」・「第三やはぎ苑」と事業を展開し「やはぎ苑」開所当時51名だった職員も現在瑞穂会全体で約280名に増え、施設サービスから在宅サービスまで総合的にサービスが提供できる法人へと成長する事が出来ました。これもひとえに職員の皆様、多くの関係者の皆様方のご理解とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

さて、平成30年度介護報酬改定は、6年ぶりのプラス改定となりましたが、特養において、排泄支援・じよく瘡発生予防に対する評価が新設された他、通所介護においても心身機能の維持に係る

アウトカム評価の導入が図られ、自立支援・重度化防止の名のもと、報酬体系へのアウトカム評価導入の動きが今後さらに加速すると思われれます。また入所者の医療ニーズへの対応、看取り介護加算の上積みや夜勤職員配置加算の見直し等、医療から介護への方向性も示され、介護ロボットの導入・ICT化を含め、今後は「アウトカム評価」、「医療・介護連携」、「生産性向上」、などの課題に積極的に取り組む必要がでてきました。

一方、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、他産業との競合、介護保険事業所の増加等により、介護人材の確保はますます深刻化し、当法人においても2年後の2020年にはベトナム人留学生第一期生2名が入職しますが、今後も外国人従業者の受け入れに積極的かつ継続的に取り組むことは最重要課題です。

さらに、今国会で成立を目指す働き方改革一括法案は、非正規雇用の処遇改善、賃金引き上げと労働生産性向上、長時間労働の是正等、具体的な方向性が示され、

介護の分野においても働き方改革法案への対応が求められており、平成31年10月に予定されている消費税率10%への引き上げも施設運営に大きな影響を与えることは必至です。

こうした大きな社会・経済情勢の変化の影響を受けつつも、社会福祉法人として質の高いサービスを提供しつづけ、地域にとって欠かすことのない施設・事業所であり続けるため、

- 1 人材の確保・育成
- 2 各事業所の円滑な運営
- 3 サービスの質の向上
- 4 組織の見直し等によるガバナンスの強化

の4点を平成30年度の重点目標に掲げ、ご利用者の皆さんには一定の品質で同じサービスを将来にわたり安定的に継続して提供し続けることがよう、職員の皆さんには生涯設計が可能な職場となるよう、法人にとっては財務基盤の確立を目指して全力を挙げてまい進します。

平成三十年度に向けて

特別養護老人ホーム くわがいの

施設長 竹内己智子

くわがいの開所以来十二年、施設の要として私達を牽引して下さった手嶋前施設長から昨年四月に大役を引き継ぎ、微力ながらこの一年無我夢中で走ってまいりました。御利用者様、御家族様の笑顔と感謝の言葉に勇気づけられ、それぞれの部署でそれぞれの責務にがんばる職員の姿に元気をもらい、私自身気持ちをおあたにした一年でもありました。

そんな中、今年度は三年に一度の介護報酬改定が行われ、より重度の入所者様への対応として、医療や看取りに関するニーズに、よりの確に対応出来る体制作りが求められています。

特別養護老人ホームが人生最後の生活の場として質の高い

サービスを提供出来るよう私達はこれまで以上に力を正し、人生の大先輩である御利用者様に教えを請いながら日々精進していかねばならないと考えております。

しかし介護に携わる人材不足は改善の兆しも見えず、今後社会全体で支えていく仕組みづくりと、現場で働く職員の意識改革の必要性を痛感しております。国が進めている働き方改革を介護の現場に合わせて業務の見直し、仕事の分業化を計り今まで以上に働きやすい環境を作り出すことでご利用者様と関わる機会を増やし、介護が楽しいと感じられる職場づくりを目指してまいります。

御利用者様、御家族様には、これまで同様当施設への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

第三やはぎ苑が開設してはや一年、月日の経つのは早いものです。開設前に職員達と良い施設にして行こうと誓った事が、ついこの間のように感じます。

介護の仕事が初めてだった職員もいましたが、そんな職員達ももうじき二年生になります。

私達は皆不安や悩みを抱えながら、それでも入居者の方々がどう接すれば安心した生活が送れるのか、常に考えて来ました。

法人理念である《当たり前生活》とはどんな生活なのか、試行錯誤を繰り返しながら、色々と取り組んで来ました。

そして行き着いた先は《退屈しない生活》だったので。

洗濯物をたたみ食器を拭き、新聞紙の整理やおもちゃの大工道具で仕事をする。

朝起きたら新聞を読み、職員も一緒にお茶の時間を過ごす。

気分の良い日は歌を歌い、天気の良い日は散歩をする。

絵を描いたり編み物したり、皆でゲームをしたり……。

第三やはぎ苑ではそんな一日を送っています。

入居者の方達も最初は堅かった表情が、今では笑顔が見られ、毎日落ち着いた穏やかな生活を送っています。

まだまだ二年生の第三やはぎ苑です。

未熟な部分はたくさんありますが、私も含め成長を続けていかなければと思っています。

入居者の方達の笑顔やそのご家族様、頑張ってくれている職員達、地域の皆様方、そしてこの環境を私に与えてくれた法人等、私を支えて頂いたすべての皆様方に大変感謝をしております。

今後も皆が幸せでいられるよう、温かく見守って下さります事をお願い申し上げます。

小規模特別養護老人ホーム 第三やはぎ苑
施設長 西井 美恵子



～ 入口の桜が今年咲きました～

平成29年度 全体会議



3月29日やなぎ苑で全体会議が開かれ、施設長より平成30年度の重点目標として次の4点が掲げられました。

- ① 人材の確保・育成
- ② 各事業所の円滑な運営
- ③ サービスの質の向上
- ④ 組織の見直しによるガバナンスの強化

日時 平成三〇年三月二十九日
場所 デイサービス

来年度こうした目標が達成できるよう全ての職員が同じ方向を向いて、一人ひとりが成長すると共に、組織一丸となって人材育成・職員力の強化に取り組み、組織力の増強につなげていければと思います。

また来年度は、やなぎ苑が開所して20年になるということでそれを記念して職員旅行も計画されていますのでとても楽しみです。

平成二十九年度 家族会

日時 平成30年3月24日
2階・3階
平成30年3月31日
4階

- 1 施設長挨拶
 - 2 介護報酬改定にて
 - 3 利用料金請求方法変更について
 - 4 施設サービス計画書等について
 - 5 施設長より
- 今回の家族会は、平成30年4月よからの介護報酬の改定により、ご入居者様の負担が若干増えることをご説明させて頂いたうえ、利用料金変更の同意書にご記入をお願いしました。
- 次に、4月から毎月のご利用料金の請求明細書の中に、今までその都度出金していた、おにつか内科・薬代・床屋代・喫茶代等を1か月まとめた金額を記載し、ご利用料金と一緒に振替させて頂く事を説明して、ご家族皆様のご理解を頂きました。
- お忙しいところ2日間とも大変多くご参加いただき、ありがとうございます。今後、ご支援とご協力をたまわりますよう、お願い申し上げます。



平成30年報酬改定

平成30年度 報酬改定による利用者負担額新旧差額(目安)

1 特別養護老人ホーム やはぎ苑 利用者負担額 新・旧差額表

利用者負担金 月額 新・旧差額表 (1か月) (1か月=30日)

	新利用者負担	旧利用者負担	居住費(342)	食費(1,380)	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	差額(円)
介護度1	21,289	20,955	25,200	41,400	87,889	87,555	334
介護度2	23,558	23,191	25,200	41,400	90,158	89,791	367
介護度3	25,893	25,460	25,200	41,400	92,493	92,060	433
介護度4	28,163	27,696	25,200	41,400	94,763	94,296	467
介護度5	30,365	29,865	25,200	41,400	96,965	96,465	500

差額=新-旧

2 ショートステイ 利用者負担額 新・旧差額表

利用者様の1日あたりの利用者負担金の新・旧差額

	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	居住費(340)	食費(1,380)	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	差額(円)
要支援1	502	511	840	1,380	2,722	2,731	-9
要支援2	621	623	840	1,380	2,841	2,843	-2
介護度1	682	705	840	1,380	2,902	2,925	-23
介護度2	758	780	840	1,380	2,978	3,000	-22
介護度3	836	856	840	1,380	3,056	3,076	-20
介護度4	913	931	840	1,380	3,133	3,151	-18
介護度5	986	1,003	840	1,380	3,206	3,223	-17

3 デイサービス 利用者負担額 新・旧差額表

通所介護 所要時間7時間以上9時間未満の場合から所要時間7時間以上8時間未満へ変更1日

	新 給付単位数	旧 給付単位数	入居介護加算	サービス提供体制強化加算	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	差額(円)
介護度1	645	656	50	18	713	724	-11
介護度2	761	775	50	18	829	843	-14
介護度3	883	898	50	1,040	1,973	1,988	-15
介護度4	1,003	1,021	50	1,172	2,225	2,243	-18
介護度5	1,124	1,144	50	1,301	2,475	2,495	-20

差額=新-旧

4 小規模特別養護老人ホーム 第二やはぎ苑・第三やはぎ苑 利用者負担額 新・旧差額表

利用者負担金 月額 新・旧差額表 (1か月) (1か月=30日)

	新利用者負担	旧利用者負担	居住費(1,970)	食費(1,380)	新利用者負担(円)	旧利用者負担(円)	差額(円)
介護度1	26,027	25,393	59,100	41,400	126,527	125,893	634
介護度2	28,296	27,595	59,100	41,400	128,796	128,095	701
介護度3	30,731	29,964	59,100	41,400	131,231	130,464	767
介護度4	33,034	32,166	59,100	41,400	133,534	132,666	868
介護度5	35,302	34,369	59,100	41,400	135,802	134,869	933

差額=新-旧

今年度の反省と来年度に向けて

くわがい介護主任 岡田進太郎

特別養護老人ホームくわがいで生活をさねてみえる入居者様、利用者様がその人らしく安全で安心した毎日を過ごすことができるように、今年度も『介護技術の向上』『認知症への理解』『24時間シートの充実』の3本柱を掲げ、職員一丸となり29年度取り組みを進めました。ここに取り組み結果と来年度の目標について報告させていただきます。

『介護技術の向上』

施設で暮らしてみえる入居者様、利用者様ともに年々重度化が進んできています。また、身体機能も人それぞれで支援の方法もより個別化が求められています。そこで、29年度は前年度同様に入居者様、利用者様個々に合わせた移乗介助を習得していくことに努めました。現場職員は介助方法のバリエーションも少なく、移乗の度に対象者、職員双方に負担が多く頭を抱えていた現状もあったため、職員の体を利用する方法を理学療法士から繰り返し学びました。実際の介助でも学んだ技術を活かしてサポートさせて頂ける場面も増え職員からも負担が減ったと声も聞かれました。しかし、周知徹底までには至らず、また不慣れであったり技術が不十分な職員もおりますので、介護技術を継続して学び事故や怪我なく安全に暮らして頂けるように取り組みを続けていきます。

『認知症への理解』

認知症の高齢者が増えている状況で、私たちは施設で暮らす認知症の方が少しでも安心できるように支援を心掛けていく必要があります。そこで、29年度は各ユニットで繋がっている課題に対して検討と実践を繰り返してきました。またユニットによっては認知症についての勉強会も開催しました。職員個々に意識を持つことで関わり方にも変化が見られ入居者様、利用者様も穏やかに過ごすことができつつあります。しかし、業務に追われ意識が薄れてしまうことや認知症という病気を十分に理解できていないがために対応が疎かになってしまう現状もあります。こういった現状を改善すると共に、お一人お一人の心の動きに寄り添える介護をめざし、認知症の理解を深めていきます。

『24時間シートの充実』

入居者様、利用者様1人ひとりの生活を支えていく上で、その人が「何を求め」「何ができるのか」を知り、私たちは「何を行うのか」を把握しておかなければいけません。そこで、それらを明確にしたものが24時間シートであり、このシートをもとにケアが実践されていきます。29年度はこのシートを充実させるためにも情報の収集とアセスメント（評価・分析）に力を入れてきました。入居者様、利用者様の状態に合わせて臨機応変に考える力がついてきましたが、24時間シートへの記載や情報の共有という部分ではまだまだ課題を感じており、より充実したケアにあたるよう日々努力を続けていきます。

平成30年度・オレンジカフェ 「喫茶・シャボン玉」

日頃より、くわがいオレンジカフェ「喫茶・シャボン玉」にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

もしも、身近な方で認知症の方の介護に関わっているとしたら・・・当事者でないとわからない不安やストレス抱えてみえるのではないのでしょうか。また、今は認知症と診断されていないまでも、「最近、物忘れが増えてきて心配」とか、「何をするにも億劫になって、外に出たくなくなったのね」とか、「足腰が弱ってきた、運動不足かも」など、「このままで大丈夫かしら」と不安になることはありませんか？

オレンジカフェは認知症の方やそのご家族、地域住民の皆さんの不安や悩みに少しでもお役に立つことができると考えております。

今年も新しい企画を予定しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

1. 開催月 年6回（奇数月17日）
2. 開催場所 くわがい「喫茶・シャボン玉」
3. 会 費 一人200円/1回
4. 内 容 介護相談、認知症予防教室、専門職によるミニ勉強会 音楽鑑賞 おやつ作り
手芸工作 健康体操など

平成30年度 第1回 オレンジカフェ

「喫茶・シャボン玉」開催のお知らせ

日 時	平成30年5月17日（木）13時30分～15時30分
場 所	くわがい「喫茶・シャボン玉」
会 費	一人200円
内 容	メインテーマ ミニ勉強会 「介護保険についての理解を深めよう！」 いざとなった時に役立つ制度の活用 介護保険で使える施設の比較など、その他

オレンジカフェにご協力いただけるボランティアさんを募集しております。
お気軽にお問合せ下さい。

担当 副施設長 藤城 みさき

グループホームかみさの家

平成 29 年度は、矢作南学区福祉委員会ボランティア部の皆様の御協力により、様々な所へ散策に出掛けたり、地域行事に参加する事が出来ました。御利用者様も、御家族様やスタッフ以外の方と交流することで、地域の住人として認識されるようになり、なにより、ボランティアの皆様とおしゃべりをしながら出掛ける事が、楽しみになられたようです。



本年度も、「地域に根差した生活」を念頭に置き、地域交流や地域行事へ率先して参加して参ります。1日でも、1秒でも多く、御利用者様が笑顔でいられる様、今後も、地域の皆様の御協力とご支援を、宜しくお願い致します。

地域密着型小規模特別養護老人ホーム
地域密着型小規模多機能

第二やはぎ苑



第二やはぎ苑の桜

小規模特別養護老人ホーム

第二やはぎ苑

◎ 家族会を開催しました

4月介護報酬改定を前に、ご家族への説明会を行いました。



◎ 春のお花見昼食会

テラスで、満開の桜を見ながらの食事会です。



ご入居の皆さまと一緒に楽しいひとときを過ごすことができました。

小規模多機能

総合マネジメント
地域のつなぎ役



他事業所



本人・家族



主治医



交番



お知り合い



ご近所さん 地域の商店

小規模多機能

やはぎ苑

住み慣れた地域で、普通の暮らしを続けられるよう、【通い】・【泊まり】・【訪問】をおひとりおひとりの暮らしに合わせ、組み合わせてご利用いただいています。



町内を散歩

第二やはぎ苑・多機能やはぎ苑では、今年度も、季節の行事・地域行事への参加
地域農家さんとお米づくりなどにも取り組んで参ります。



小規模特別養護老人ホーム 第三やはぎ苑

節分

今回もみんなの様子を見て下さい。
とっても盛り上がっていましたよ！

福

雑祭

お雛様とお内裏様！？

みんなで手作りおやつ

みんなとっても楽しそうでしょう！
これからも色々企画をしますので、
いっぱいいっぱい楽しみましょね！

新人紹介



氏名 石坂 元哉
所属先 やはぎ苑 介護職員
趣味 ゲーム 料理
これからの抱負
初めての仕事で、不安は沢山ありますが、先輩方のアドバイスを聞いて、早く慣れるようにしたいです。



氏名 黒柳 雅能
所属先 くわがい 介護職員
趣味 バイク ツーリング ジム
これからの抱負
不器用なので迷惑をかけてしまいそうですが、努力し、安心して任せられる介護士になりたいです。



氏名 池田 朱里
所属先 やはぎ苑 業務職員
趣味 音楽鑑賞 読書
これからの抱負
入居者の皆さんの役に立てるようになりたいです。

「ありがとうございました。」

（ご寄付・ご寄贈 平成三〇年一月～三月）

* 鎌田 久江 様

* 矢田 哲臣 様

* 小柳 津裕 二 様

* 谷澤 直人 様

編集後記

日本人の活躍に沸いた平昌オリンピック。中でもカーリング女子の活躍が連日メディアに取り上げられ、「そだねー」や「もぐもぐタイム」は早くも今年の流行語大賞候補として脚光をあびました。試合を観戦していて、カーリング女子から学んだことは、お互いが試合の中で納得するまで話し合い、そして決定した事に対して自分がやるべき仕事に真剣に取り組みながらも常に笑顔でお互いを家族のように気遣い、和やかなムードの中で一緒にあって同じゴールに向かって仕事をすることの大切さだと思います。

私たちも、お互いを思いやりながらしっかりと話し合い、同じゴールを目指し笑顔で新人職員と共に頑張りたいです。